

科目名	卒業演習 「家族理解のためのアセスメント・応用編」		担当教員	佐藤隆司		
			担当形態	単独		
テキスト	必要に応じて資料配布。	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	後期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族理解、家族問題解決のためのツールとケースカンファレンスの方法などを理解して実践できる。 ・児童相談所と市町村児童家庭相談窓口の機能と役割を理解する。 ・専門総合演習による基礎知識と各自課題とした内容を鮮明にするため、フィールドワークなどを通して分析・検討して専門職の「礎」とする。 <p>■授業の概要</p> <p>現在の福祉・教育現場の相談（援助）の内容は非常に複雑困難化しており、繰り返し、繰り返し事例を検討して幅広く家族問題解決のための視点を習得する。また、保育士、幼稚園教諭として就職した際“即使える” 具体的、実効的、実践的、実務的技術の獲得を目指す。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 事例（虐待、非行、親の問題行動、夫婦・家族関係など）検討① 第2回 事例（虐待、非行、親の問題行動、夫婦・家族関係など）検討② 第3回 事例（虐待、非行、親の問題行動、夫婦・家族関係など）検討③ 第4回 事例（虐待、非行、親の問題行動、夫婦・家族関係など）検討④ 第5回 事例（虐待、非行、親の問題行動、夫婦・家族関係など）検討⑤ 第6回 事例（虐待、非行、親の問題行動、夫婦・家族関係など）検討⑥ 第7回 フィールドワーク① 祖父母、親世代の理解 第8回 フィールドワーク② 祖父母、親世代の理解 第9回 ケースカンファレンスの実際① 第10回 ケースカンファレンスの実際② 第11回 ケースカンファレンスの実際③ 第12回 ケースカンファレンスの実際④ 第13回 卒業レポート① 第14回 卒業レポート② 第15回 学びの成果発表会のための整理</p> <p>■準備学習</p> <p>前回授業の復習と次回授業の予習。 「分からない」は「(何が) 分からない」と明確化して授業に取り組むこととする。</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業参加（授業中・施設見学などの意欲・態度） — 40% ・卒業レポート（提出期限厳守） — 40% ・課題（提出期限厳守） — 20% 						
参考文献	厚生労働省雇用均等・児童家庭局「児童相談所運営指針」平成28年9月29日改正版 厚生労働省雇用均等・児童家庭局「市町村児童家庭相談援助指針」平成28年10月31日改正版 厚生労働省雇用均等・児童家庭局「子ども虐待対応の手引き」平成25年8月改正版 M・マクゴルドリック＋R・ガーツン＋S・シェレンバーガー著/石川 元＋佐野祐華＋劉イーリン訳「ジェノグラム（家系図）の臨床」ミネルヴァ書房、2009年 早樫一男「対人援助職のためのジェノグラム入門 家族援助と相談援助に役立つツールの活かし方」中央法規、2016年		特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・一部、画像、DVDなどを題材にディスカッションするため授業への積極的発言を期待する。 ・私語・途中退室、電子機器などは使用禁止 		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修		幼			
			保			